



2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年9月4日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山岡 祥記 TEL 078-822-5000
 四半期報告書提出予定日 2019年9月12日 配当支払開始予定日 2019年10月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第2四半期の業績（2019年2月1日～2019年7月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	13,927	△0.8	744	△30.6	776	△29.9	488	△32.5
2019年1月期第2四半期	14,044	△0.8	1,073	△14.1	1,107	△15.7	723	△18.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	137.33	—
2019年1月期第2四半期	202.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	22,737	16,232	71.4
2019年1月期	23,618	16,070	68.0

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 16,232百万円 2019年1月期 16,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年1月期	—	50.00	—	—	—
2020年1月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年1月期の業績予想（2019年2月1日～2020年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,440	△0.4	1,460	△33.3	1,490	△32.9	920	△34.2	258.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期2Q	3,669,226株	2019年1月期	3,669,226株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	130,511株	2019年1月期	110,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期2Q	3,553,871株	2019年1月期2Q	3,571,779株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資などの堅調な内需により、伸びは弱いながらも底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の影響や英国の合意なきEU離脱への懸念の高まり、欧州景気の低迷など、世界経済が減速傾向にあるなかで先行き不透明な状況となりました。

このような状況のもとで、当社は企業スローガン『こころつなが。笑顔かがやく。』を掲げ、お菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、季節限定の半生菓子やカスタードプリンなどの洋生菓子の売上は好調でしたが、百貨店の店舗閉鎖の影響に加え、長梅雨や低温の影響により夏季商品が低調に推移したこともあり、当第2四半期累計期間の売上高は13,927百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

損益面におきましては、西神工場の焼菓子ライン再構築や店舗の出店、改装に伴う減価償却費の増加、人手不足による人件費の上昇、運賃値上げによる運送費の上昇など、諸費用が増加したことにより、営業利益は744百万円(前年同期比30.6%減)、経常利益は776百万円(前年同期比29.9%減)、四半期純利益は488百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、ファージャュをモチーフにした新ブランド店の新規出店などにより焼菓子の売上獲得に努めたものの、長梅雨や低温など7月までの天候不順の影響により「凍らせてシャーベット」をはじめとした夏季商品が低調に推移し、前年同期を下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、引き続きカスタードプリンが好調であったことや、デンマーククリームチーズケーキ誕生50周年を記念した「ロイヤルクリームチーズケーキ」の発売効果もありチーズケーキが堅調に推移したこと、半生菓子の季節限定商品「福岡 あまおういちごのケーキ」や「瀬戸内レモンケーキ」が売上貢献したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は13,128百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、店舗の改装、メニューの改善などにより売上拡大を図りましたが、一部店舗の退店に伴う売上減少の影響により、売上高は798百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ881百万円減少し、22,737百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額1,149百万円、仕掛品の増加額743百万円、有形固定資産の増加額302百万円、有価証券の増加額199百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,512百万円、商品及び製品の減少額1,234百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,043百万円減少し、6,504百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額895百万円、未払法人税等の減少額166百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ162百万円増加し、16,232百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額310百万円、自己株式の取得による減少額101百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ749百万円増加し、当第2四半期会計期間末には2,271百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少、たな卸資産の減少、仕入債務の減少等により、2,125百万円の収入(前年同四半期累計期間は2,781百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出、定期預金の払戻による収入、有価証券の取得による支出、有価証券の売却及び償還による収入、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、1,096百万円の支出(前年同四半期累計期間は1,518百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、自己株式の純増加により、279百万円の支出(前年同四半期累計期間は366百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、2019年3月15日に公表いたしました2020年1月期の通期の業績予想の修正を行っております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,500	1,800	1,830	1,160	324円95銭
今回修正予想 (B)	29,440	1,460	1,490	920	258円87銭
増減額 (B-A)	△60	△340	△340	△240	
増減率 (%)	△0.2	△18.9	△18.6	△20.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年1月期)	29,547	2,189	2,220	1,399	391円91銭

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,424	3,561,380
受取手形及び売掛金	5,574,871	3,062,785
有価証券	2,100,000	2,299,920
商品及び製品	2,215,381	980,941
仕掛品	253,807	996,935
原材料及び貯蔵品	388,429	387,780
その他	82,200	160,684
貸倒引当金	△22,000	△12,000
流動資産合計	13,004,115	11,438,427
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,585,239	2,599,345
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	1,805,259	2,094,084
有形固定資産合計	7,624,837	7,927,769
無形固定資産	159,277	152,357
投資その他の資産		
投資有価証券	1,801,995	1,706,351
その他	1,028,180	1,512,167
投資その他の資産合計	2,830,176	3,218,519
固定資産合計	10,614,291	11,298,645
資産合計	23,618,407	22,737,073

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,136,677	1,174,579
電子記録債務	1,858,747	963,421
短期借入金	1,850,000	1,850,000
未払法人税等	365,575	198,887
賞与引当金	240,260	243,870
その他	1,682,292	1,531,168
流動負債合計	7,133,552	5,961,926
固定負債		
退職給付引当金	64,037	64,461
環境対策引当金	2,340	2,085
その他	348,051	475,653
固定負債合計	414,428	542,199
負債合計	7,547,981	6,504,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,855	3,921,919
利益剰余金	8,135,177	8,445,297
自己株式	△442,948	△544,724
株主資本合計	15,351,552	15,559,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	428,734	382,847
土地再評価差額金	290,138	290,138
評価・換算差額等合計	718,873	672,986
純資産合計	16,070,425	16,232,947
負債純資産合計	23,618,407	22,737,073

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	14,044,242	13,927,379
売上原価	7,097,446	7,088,212
売上総利益	6,946,795	6,839,167
販売費及び一般管理費	5,873,148	6,094,382
営業利益	1,073,646	744,784
営業外収益		
受取利息	433	314
受取配当金	25,546	23,923
その他	26,237	26,516
営業外収益合計	52,218	50,753
営業外費用		
支払利息	13,593	13,531
その他	4,761	6,001
営業外費用合計	18,355	19,533
経常利益	1,107,509	776,005
特別利益		
投資有価証券売却益	—	722
特別利益合計	—	722
特別損失		
固定資産除売却損	4,350	11,053
減損損失	—	1,960
特別損失合計	4,350	13,014
税引前四半期純利益	1,103,159	763,713
法人税、住民税及び事業税	343,031	126,337
法人税等調整額	36,950	149,309
法人税等合計	379,981	275,646
四半期純利益	723,177	488,067

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,103,159	763,713
減価償却費	340,051	377,648
減損損失	—	1,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	480	3,610
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△80,812	423
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△465,047
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,100	△10,000
支払利息	13,593	13,531
受取利息及び受取配当金	△25,980	△24,237
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△722
固定資産除売却損益(△は益)	4,350	11,053
売上債権の増減額(△は増加)	2,342,471	2,512,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	738,928	491,960
仕入債務の増減額(△は減少)	△798,732	△857,424
その他	△426,138	△400,760
小計	3,202,269	2,417,795
利息及び配当金の受取額	27,119	24,416
利息の支払額	△14,843	△17,181
法人税等の支払額	△433,375	△299,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,781,169	2,125,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,190,000	△1,290,000
定期預金の払戻による収入	990,000	890,000
有価証券の取得による支出	△1,900,557	△2,299,938
有価証券の売却及び償還による収入	2,000,425	2,100,134
有形及び無形固定資産の取得による支出	△406,374	△509,299
有形及び無形固定資産の売却による収入	99	—
投資有価証券の取得による支出	△2,739	△2,772
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	35,218
その他	△9,933	△19,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,518,579	△1,096,540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△11,207	△101,999
配当金の支払額	△354,961	△177,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,168	△279,263
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	896,421	749,955
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,296	1,521,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,525,718	2,271,380

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式20,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取請求等による増加222株を加えて、当第2四半期累計期間において、自己株式が101百万円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計(千円)	13,128,728	99.3
(内訳)		
干菓子群(千円)	9,679,499	97.8
洋生菓子群(千円)	3,007,492	105.7
その他菓子群(千円)	441,735	93.8
喫茶・レストラン事業計(千円)	798,651	96.7
合計(千円)	13,927,379	99.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。
	(焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。
	(デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ) サマーロイヤルタイム、サマーイング、ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。
	(半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。